

<背景>

お客様は複数の開発プロジェクトを展開されており、各開発プロジェクトは委託パートナー含めた体制で推進されていました。自社の社員以外のメンバーとの混合チームということもあり、開発環境におけるセキュリティは最大の課題となっておりました。そこで、従来は開発環境としては以下の2種類のいずれかで運用していました。

- ①お客様自身が開発環境を準備し、委託パートナー社員に貸与して開発実施
- ②委託パートナー自身の社内に隔離されたNW領域を構築し、お客様と専用線で接続し開発実施

いずれの方法も一定のセキュリティレベルの担保はできていましたが、環境整備までのリードタイム 及び コストの面での課題が山積みでした。

<課題解決に際して>

お客様から従来の状況と課題及びその解決を相談いただいた当社は、DaaS（Desktop as a Service）による委託開発基盤を構築し、お客様/委託パートナーそれぞれの既存環境からセキュアにアクセスできる仕組みを提案しました。

考慮したポイントは運用時におけるリードタイム短縮 や コスト低減はもちろん、以下の点です。

- ・従来の開発環境で実現できていることは踏襲すること
- ・必要なセキュリティレベル（MFA採用など）を担保すること
- ・大容量の開発資源をクラウド上に保存し、活用可能にすること

複数のDaaSを比較検討し、AWS社のWorkSpacesというサービスの有用性を確認した当社はWorkSpacesを採用することにしました。

※サービス選定にあたっては一部サービス仕様の改定などもAWS社ヘリスエスト実施

<実現に向けて苦労したポイント>

お客様の情報システム部門がWorkSpaces環境の統括管理をし、各開発プロジェクト毎に必要な仮想マシンのマスター管理は各開発プロジェクトに委任する仕組みの検討に苦労をしました。中央でガバナンスを利かせながら、実際の利用者は柔軟な環境利用ができるように、アクセス権限の検討や各種ツール整備についてはお客様と議論を繰り返し、作り上げていきました。

<参考：システム構成図>

